

2010.10.20「また判明した鳩山前総理のウソ」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

今日は10月20日、水曜日です。明日、21日木曜日の10時から、参議院財政金融委員会が開かれますが、私はこの委員会の中で、30分くらい、大臣所信に対する質問もさせて頂こうと思っております。その内容は、インターネットでも中継されますので、ぜひご覧になってください。

その中で申し上げようと思っているのは、民主党のデフレ対策についてです。デフレであるということを認めながら、全く対策をしていません。デフレは、需要が供給よりも少なくなっていることです。それを脱却するために、まずデフレギャップという供給と需要の差額を埋めることが必要です。そのためには需要をどうやって増やすかということが問題になります。民間方に、どんどんお金を使って頂いて需要を増やしていくのが一番良いのですが、デフレではそれが難しいのです。つまり、モノの値段がどんどん下がってくるので、今モノを買うよりも、後で買った方が得だということで、モノが売れないということなのです。モノが売れない状況になると、産業活動がどんどんストップしていきます。そういう状況では、いくらお金を出しても、投資をしたり、モノを買ったりしないわけです。こうした状況下で需給ギャップを埋めるためには、日本で最大の事業機関である日本国政府自体が、公的な支出でそれを埋める仕事をする以外ないのですが、民主党政府はそれを全くしていません。こ

の問題点を、委員会の中でも、しっかりと指摘していきますので、ぜひ、ご覧になっていただきたいと思います。

また、昨日から新聞に載っていますが、鳩山元首相は訴訟の書類を国会に提出すると、私に3月の参議院予算委員会で約束しましたが、その約束が反故にされました。それだけではなく、鳩山元首相が、書類のコピーはないと国会で発言したことがウソだったということも大きな問題になってきました。弁護士事務所に書類のコピーはあったのに、鳩山元首相はコピーをとっていないので自分の手元になく、弁護士事務所にも聞いたけどないという答弁を国会でしていたのです。つまり、コピーを取っていなかったと言うことがウソだったということも含め、その書類を訴訟が終わったら見せると言ったことが実行されていないのですから、鳩山元首相の答弁は、何もかも、ウソとデタラメで塗り固められているということが、今更ながら明らかになったのです。

この事態に、民主党はどのように対応するのでしょうか。私は、何度も、菅総理にも聞いていますけれども、「鳩山元首相が辞任により政治責任を果たされたからもう説明の必要はない」という答弁に終始しています。しかし、鳩山元首相が説明責任と、政治責任とは別の話なのです。秘書の犯罪は政治家の犯罪だと、野党の時に散々鳩山元首相は発言されてきたのですから、秘書が逮捕されて有罪になったということを受けて、鳩山元首相が政治責任を取ったのは当たり前で、それとは別に、国民にきちんと説明責任を果たさなければならな

いのです。特に、お母さんから毎月 1500 万円貰ってきた、いわゆる闇子ども手当では、贈与であります。それも 1 2 億円に上る贈与が兄弟 3 人にも行われていたということになると、鳩山家上げての大脱税事件となりますがこれについては依然として国民の前で説明されておられません。鳩山政権、その後の菅政権もそうですけれども、民主党政権というのは、口から出任せでもその場をしのぎ、次々に嘘と出任せを積み重ね、嘘が明らかになるとそれを無かったようにしてしまいます。最後には、多数の議席を持っているから押し切っていくのです。この繰り返しばかりでは、お話になりません。国民のいい加減にしろという声を、ぜひとも上げていかなければならないと思っております。

これからも民主党を徹底的に糾弾していく活動を続けていきたいと思っておりますので、皆さん方のご支援、よろしく願いいたします。